



青年江原会報

発行・青年江原会
〒862-0972 熊本市新大江1-8
熊本高等学校江原会館内
☎096-362-5866
制作・青年江原会編集委員会
☎096-354-3822

イトン江イトに乗ったぞ!



松田 満 (52会)

もう一昨年前のことになってしまった。あのイトン校との初めてのスポーツ交流となった親善レガッタ。熊高漕艇部史上初のイトンによる国際レース。
すべては江原会の方々の「尽力の賜である。とりわけ52会の皆さんには大変お世話になりました。下江津湖に行けばあの時の感動が沸々と蘇ってくる。共同艇庫には今もイトンカラーのイトンが偉容を誇っている。これはナショナルスクールズレガッタを制覇したときの記念艇で、親善レースの記念に購入していただいたものである。

さて、試乗会が実施できたのが昨年の七月四日(日)であった。清村君に参加者を募集してもらい、午前九時に集ったメンバーは総勢三五名。家族ぐるみで来てくれた人も多い。お父さん頑張つての声に漲る力。先ずはエルゴメーターを用いて陸上でのシミュレーションを行う。競技用ボートは手漕ぎボートと違い、腰掛ける椅子が前後にスライドして膝が屈伸できるようになっている。足蹴り・ボディスイング・腕の引きつけ、これが運動したサイクル運動になる。参加者一人一人、漕技の形を概ね修得。次はいよいよ乗艇練習。高校生部員(二年八名、一年五名の指導のもと)オアに乗艇。皆悪戦苦闘だ。そして、いよいよイトンの番だ。イトンの大男達がひよいと軽々差し上げた艇も高校生の手を借りてやっと湖面に浮かべると、我先に気に入ったシートに腰掛ける。はやる気持ちを抑えてオールをセツトする。いざ出艇。晴天だが風がやや強く、バランスがとれない。進まないばかりか、舵も利かない。ペア漕がオア漕、そしてオールメン漕。漕ぐ人数が増えると身体もオールも揃わない。オールを水に入れるタイミングと深さを調整して角度の差。微妙な違いでなかなか難しい。「わー、オールが抜けん」「ちよつと待った。シートが外れた!」それでも憧れのイトンに乗

て漕ぐ。気持ちはレガッタ出漕クルーである。何とも爽快極まりない。皆、現役の高校生に戻つたように嬉々としている。「よし、もう一往復いこう!」後半はバランスもとれ出して、即席クルーではあるが青年江原会のチームワークの良さがキラリと光っていた。青い空の下、久しぶりに湖面を滑ったイトンも微笑んでいる様だった。アツという間の二時間半。きつかったバツテン面白かった。「また乗りたいかね」記念写真を撮影し、昼食タイム。同じ艇に乗った仲間はややかに、話の輪を

広げていった。尚、イトンとのレースに臨んだ当時の一年生クルー(現二年生)は、昨秋の全国選抜大会県予選にて総合準優勝を果たし、体協からの強化費を勝ち取るまでに成長しています。江津湖に立ち寄られたら艇庫を覗いて下さい。熊高の『紺と白』のオールで漕いでみたい人もどうぞ声をかけて下さい。春以降がよろしいかと思えます。

本会報の原稿執筆を依頼した福岡の友人から、青年江原会創設時の理念とは如何なるモノであったのかとの問合せを受けた。その辺りの事情は「熊中熊高八十年史」に詳細があるのだが、世間からは兎角他人との協調性に欠け学内・間の交流が少なく、と見られがちな熊高卒業生の違つた一面を出そう、というのがその主旨であったと記憶している。今から8年前前に「デイスカパー」土君子」が始まった頃には、世間のそういう見方は江原会員個々



青年江原会会長 清村 正 弥 (52会)

能力

人の能力の高さに由来するものと思つていた。他人と協力せずとも独力で何でも出来る。だから傍の人の目にはある定型の熊高卒人のイメージがでる。と、いつわけた。当時の私の感想は決してネガティブなものではなく、「能力の高さ」に対しては肯定もしていたのである。それから時が経ち、気が付くと青年江原会から定年追放される目となった。今、改めてそのことを考えてみた。結果、少々違つた結論に達してしまつた。「高い能力には天性のも

能力」は勉強、中でも受験という極狭いフィールドでのみ実証されているだけで、世の中の大半を占めるその他の分野においてはその能力の高低に関する検証無しに、その後の人生を歩んでいるのである。単一のモノサシで諸物をはかつてはならない。点数評価にそぐわない類の能力の高低を顕在化させる必要は無かつた。他人と協調して何か事を成すには、それに必要な「能力」の具備というものが不可欠ではなかつたか。

のだけではない。学習によって後天的に得られるものもある。そして学習は学校においてのみ行われるものでもない。何歳になつても、自分に不足している部分がなければ、それを補う手立てがある。中でも周囲にいる自分以外の他人から教えてもらう、あるいは「盗みとる」のは、一番手っ取り早い方法ではなかつたか。自分の周りをも一度見回してみよう。ほら、個性豊かな同級生や先輩後輩がウジャウジャいるではないか。そんな皆がワイワイと一緒になにかをやつたとすれば、気付いたときには全員がそれぞれに新しい「能力」を手に入れてることにたつ。

アクセス待ってます!
青年江原会ホームページアドレス
URL <http://www.hmc.or.jp/~s-kogen/>

青年江原会 総会案内
日時 4月21日(金) 19時~
場所 ニュースカイホテル
会費 4,000円

母校創立百周年記念事業への取り組み
高木 宏 一郎 (53会・青年江原会副会長)
西暦二〇〇〇年に入り、いよいよ母校創立百周年を迎えることになる。私共青年江原会は、一〇〇〇委員会・物産委

またた以上、それなりにパワーを注いでしまふのが、青年江原会の特長。何がそこまで楽しいの?と思う程、皆がそれぞれに拘り始める。『一種の病気ですね』しかし、それが私たちの味だと思つていきます。四月になると、56会の皆と57会の一部は、お祭りモードに入つてしまふでしょうから、九月十五日迄は、他の学年で一〇〇〇委員会を盛り立てましよう。いろんな記念品をこれから皆様に案内することになります。乞うご期待。

さて、折角迎える百周年。他の事でも、皆でいろんな仕掛けを考え、実行しましよう。まずは、六月の福岡青年江原会総会と東京江原会総会。数年前から、正式行事として、親交を深めています。今年は何かひとひねり出来ると楽しいかなと思いますが……。

祭いだ GOGO! 全員集合!



祭・を・終・え・て

実行学年 55会 國武 信利

九月十四日(祭前日)、九州東岸の熱帯低気圧が台風に変わり、午後より強い雨。奉納順番四番を引いた今年は、午前四時集合ということ

必要な用品を早く買いにいかないと店が閉まる、欲しいだけの数からそろわない、やつと数がそろいだしたのが午後八時頃、それから太鼓の雨用のカバールを作りはじめる。そのころ雨が小降りへと変わった

務所に集合して祭りの無事を祈願し身支度を整え集合場所の公園へ、出発式の準備が終る頃雨もほとんどやんでいった。複雑な気持ちのまま四時の集合。そのとき55会の顔は、ここまで準備をやったんだ何でも来い、という、さすがに、自信に満ちた顔

九月十五日、出だしの口上を間違えないうちに三〇分くらい念仏を唱えるように口上を繰り返していた。午前六時、いよいよ神幸行列が始まった。広町から上通り、下通、サンロードを抜け、朝随兵のメインイベント日銀前の馬追。馬を追い始めると同時に楽隊の音が始まるようにと入念に打ち合わせはしていたが、果たしてどうか。もう

自分は動けない。担当の同級生がうまくやってくれるはず。あとでビデオを見た最高のタイミングだったと思う。なんとか朝随兵が終わりに、休憩所に入ったのが九時。朝が昼飯かわからないような時間。夕随兵のスタートが午後二時三〇分、国道三号線に入る。鳥居をくぐり参道の奥の方に宮が見える。急に二年前からの記憶が順番によりみがえってきた。一度口上を言う声が詰まってしまった。藤崎宮に戻ってきたのが四時三〇分。清村青年

江原会会長の万歳三唱で平成十一年の祭りが終わった。あわただしかった一日、振り返ってみればあつと言つ間の出来事でした。祭が終わった瞬間、充実感、満足

感、開放感が一度に襲ってきたような、うまく表現ができませんが、自分で自分を今完全にコントロールできていない放浪状態になっていてと思います。今回の祭も同級生が福岡や東京からも駆けつけ手伝ってくれました。長い準備期間中も高校時代の体育祭や文化祭の頃にタイムスリップしたように今思えば楽し

しい時間だったと記憶しています。また、55会同志も現役時代は言葉交わしたことがあるかどうかの程度だった者とも二回目の現役時代を経験し、一段と絆が強くなったように思います。一般社会ではもう体験できない貴重な一年でした。そして、この祭が事故無く無事にできたのも同級生の力ばかりでなく江原会先輩

の皆様の懐の深い温かいご指導、後輩諸君の頼もしい応援、熊本高校を始め各方面の皆様のお支援助けのおかげです。有り難うございました。



百周年の祭へ向けて

平成12年度藤崎宮秋季例大祭飾馬奉納
実行学年五六会実行委員長 大多新 勝徳

自分は何もできない。担当の同級生がうまくやってくれるはず。あとでビデオを見た最高のタイミングだったと思う。なんとか朝随兵が終わりに、休憩所に入ったのが九時。朝が昼飯かわからないような時間。夕随兵のスタートが午後二時三〇分、国道三号線に入る。鳥居をくぐり参道の奥の方に宮が見える。急に二年前からの記憶が順番によりみがえってきた。一度口上を言う声が詰まってしまった。藤崎宮に戻ってきたのが四時三〇分。清村青年

今年度の祭本番まで一所懸命努めさせて頂きますので、先輩各位並びに後輩諸君、よろしくお願致します。私の名字は読み難いと思いますが、大・多・新と書いて「おおたに」と読みます。今年だけでも覚えておいて頂ければ幸いです。

さて、いよいよ二〇〇〇年の到来です。今年も皆様に承知の通り、母校熊中・熊高創立百周年の年であり、この様な節目の年に実行学年を迎える責任と喜びを56会一同ひしひしと感じております。私ども56会として

は、創立百周年にふさわしい祭にしたいと日々考えては居りますが、何分最初にして最後の経験ですので、暗中模索と言った状況です。先輩方の貴重な経験と意見、後輩たちの屈託のない要望を糧に精進してまいりますので、皆様のご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。最後に皆様のいやさかを祈念致しまして、口上を一言、「時は平成十二年 母校百年 この年に 熱き心の土君子が 紫紺の法被に身を包み 集いし長月十五日 見廿てくれよか心意気」

九月十五日、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

熊中・熊高創立百周年を迎えて

西暦一九〇〇年明治三十三年四月に創立された我々が母校、熊中・熊高は節目となる西暦二〇〇〇年に輝かしき創立百周年を迎えます。この記念すべき年に当たり、江原会ではさまざまな記念事業に取り組んでいます。もちろん、我々青年江原会におきましても色々な形で親会への協力、そして独自の形での取組みを行っています。その内容に関してここでご紹介しましょう。

一、公益法人の設立
皆様にお願している寄附の半額を基金とした法人の設立を目指します。イトン校との交流をはじめとする国際交流や、母校の在学生を含む若い世代への教育を充実させるための大元になるものです。

二、祝賀大同窓会
二〇〇〇年十一月三日、グランメッセ熊本におきまして大同窓会が開催されます。その際物産展も同時に開催され、熊中・熊高にちなんだ様々な記念グッズが販売されます。青年江原会としても会として物産展開催へ向けての取組みを行っています。皆さん振るってのご参加をお願いいたします。

三、その他
イトン校交流の一環としてイトン校聖歌隊を招致、コンサートを行います。また、江原会館にて保存してあります母校の様々な資料等の展示会や記念講演会なども企画しております。日程等の詳細につきましては江原会事務局へお問い合わせください。

ほんの一部だけの紹介でしたが、その他色々な行事が目白押しです。ぜひ皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

駿台衛星講座

サテネット21受信校 — 知究館 —

日本最大の難関大学合格実績を誇る駿台予備学校の衛星放送 無駄なエンターテイメント的要素の省かれた『質の高い授業』 最難関大学へ挑戦する才気溢れる俊英たちの唯一無二の『学習空間』を体験しませんか。

お問い合わせ 熊本ゼミナール 知究館 高校部

〒862-0971 熊本市大江6-25-17 TEL 096-371-2001

20XX年

福岡青年江原会



福岡青年江原会代表幹事

清永 裕之(52会)

20XX年 12月 テレビをつける... 6:00から遊園亭... 福岡青年江原会... 『おー行く。ところ... 』

わたっているかを考え... インターネットに... 『ドッグイヤー』と... スピード、スピード... 『そーや、楽しみやね』

追いかけて「土君子たれ」という気持ちを持... 同級生の再会の場、... 『同級生の再会の場』... 『同級生の再会の場』...

楽しいゴルフが出来... ニアム、代表幹事の... 『同級生の再会の場』... 『同級生の再会の場』...

『食わんよ』のクレ... ムゲーム賞品に對し... 『同級生の再会の場』... 『同級生の再会の場』...

『同級生の再会の場』... 『同級生の再会の場』... 『同級生の再会の場』...



ご挨拶

校長 中西康夫

百周年本番の年... 『おー行く。ところ... 』

わたしは、この佳辰に... 『おー行く。ところ... 』

わたしは、この佳辰に... 『おー行く。ところ... 』

わたしは、この佳辰に... 『おー行く。ところ... 』

わたしは、この佳辰に... 『おー行く。ところ... 』

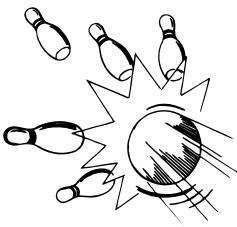
わたしは、この佳辰に... 『おー行く。ところ... 』

わたしは、この佳辰に... 『おー行く。ところ... 』

LET'S GO BOWLING

平成11年 青年江原会レクレーション大会

熊高57会 馬場 太果志



日時 六月十三日... 会場 センターホール... 天気 小雨... 昨年までのミニバ... 『おー行く。ところ... 』

二〇チームにのぼ... 『おー行く。ところ... 』

盛り上がりました 青年江原会公式行事 忘年会

岡村 郷司(58会)

平成11年青年江原会忘年会は、11月26日金曜日、上通り宮本食堂で、約90名の参加により、なんとが無事に終了することができた。多数の御参加有難うございました。



が、幼児は両親が見... 『おー行く。ところ... 』

我々58会にとり、... 『おー行く。ところ... 』

俺達らしいものでい... 『おー行く。ところ... 』

そして、受付開始... 『おー行く。ところ... 』

『おー行く。ところ... 』

『おー行く。ところ... 』

志望校が母校になる。代々木ゼミナール 高1・2・3グリーン 大学受験科 新学期受付中! 98年度の代ゼミメイト生(模試生)で、本年度大学受験科に入学される方は、入学金より¥50,000を減額します! 熊本校では随時、入学・入試についての個別相談会を実施。 スカラシップ生試験 3月2・5・9・12・16・19・22・24・26・30日 ※上記試験日以降(4月)も随時実施いたします。 大学受験科・高校グリーンのスカラシップ生選考試験において成績優秀者は、入学時に年間学費の全額または一部を免除いたします。 高校グリーン試験日程 3月6・13・20・24・27・31日 熊本校合格実績 ※最近5ヶ年※数字は本科生のみ、模試や講習会のみ参加者は1名も含まれません。 熊本校 電話 096-0047 熊本市春日1-12-10 電話 096-351-3111(大代)

祭りを支える

願わくば母校の門柱のように...

花形たち

藤崎宮秋季例大祭において纏隊は、馬廻り集・楽隊風雷神とともに勇壮な馬追いを盛り上げる役割を果たしています。匠の名前の由来は、小纏大纏を倒す事なく美しく華麗に勇壮に廻すには、技術・匠の技が必要であるところから名付けられました。以前より活動を続けておりますが、数年前より本祭の夕随兵において大纏を奉納するようになり、活動が活発になってきています。現在宮村隊長を中心に二〇名ほどで活動しています。昨年は実行学年55会からの依頼により、前夜祭のステージにも出演メンバーの意気も大いに上がり、団結も強くなりました。今後も宮村隊長を中心に一致団結し、勇壮な馬追いを盛り上げ、

会長 (52)	清村 正弥	幹事 (55)	國武 信利
副会長 (52)	福田 攝	久野 恭義	
事務局長 (54)	竹本 聖一	久保 啓介	
会計監査 (52)	小堀 俊夫	大多新勝徳	
幹事 (52)	池田 和隆	吉浦 正剛	
(53)	高木宏一郎	井竿 雅博	
(54)	林田 淳一	馬場大果志	
(53)	松本 正敏	山崎 友裕	
(54)	岩本 英伸	岡村 郷司	
(53)	豊岡 秀人	高橋 正光	
(54)	河野 成美	下川 泰	
(54)	田河 吉治	森 幹雄	
(54)	寒野 貴久	堤 裕高	
(54)	田中 龍弘	濱田 倫彰	
(54)	江中 栄一	山本 哲治	
(55)	松崎 克彦	西山慎一郎	

誰が言いましたか
は明白であるが、片山、永田両先輩の後を受け、私が三代目の楽隊長となる。

MATOI
纏

「まるで母校の門柱のようでありたい」
願わくばいつもこう思っています。

「早くも全員のチームワークを何よりも大切に、男の粋と心意気を追求していきたい」と思っています。

「軽快で躍動感のある馬追いのイメージに由来したものです。現在隊員は、竹森英治隊長以下24名。練習は、日曜日の早朝を基本として、毎年六月下旬から始まります。八月からは水曜日の夕練もしています。練習は体力的に厳しいものですが、けがと事故を未然に防ぎ、飾り馬を「祭りの華」とするために、毎年テーマを設けて挑戦しています。」

GAKUTAI
楽隊
「風雷神」

楽隊長 林田 淳一
前夜祭・飾り卸・本祭と、毎年の実行学年と擦りあわせ福岡・東京の江原会総会にも毎年出前に行っている。

UMA MAWARI
馬廻り「集」

事務局 菊池 徹
青年江原会馬廻りは、平成八年に現体制を発足させ、名称を準としました。この準の名称は、私たちが目標とする「軽快で躍動感のある馬追いのイメージに由来したものです。現在隊員は、竹森英治隊長以下24名。練習は、日曜日の早朝を基本として、毎年六月下旬から始まります。八月からは水曜日の夕練もしています。練習は体力的に厳しいものですが、けがと事故を未然に防ぎ、飾り馬を「祭りの華」とするために、毎年テーマを設けて挑戦しています。」

ルーツを訪ねて



「ディスカバー土曜」

平成11年度 青年江原会事業内容

- 4月16日 平成11年度通常総会
 - 6月13日 ボーリング大会
 - 6月25日 ビアパーティ
 - 7月 4日 イートンボート試乗会
 - 8月20日 藤崎宮例大祭 結団式
 - 8月22日 藤崎宮例大祭 参加受付
 - 8月29日 藤崎宮例大祭 飾り開き
 - 9月 5日 藤崎宮例大祭 全体練習・参加証交付
 - 9月12日 高校OB連合会前夜祭
 - 9月13日 藤崎宮例大祭 飾り卸し
 - 9月15日 藤崎宮例大祭 本祭
 - 9月24日 藤崎宮例大祭 全体打ち上げ
 - 11月13日 江原会総会
 - 11月26日 忘年会
 - 12月 5日 ディスカバー土曜バスツアー
 - 3月 1日 青年江原会会報配布
 - 4月21日 平成12年度通常総会
- *この間に11回の学年幹事会を開催

学校法人熊本予備校
平成12年度 大学受験科
入学・入寮 願書受付中

■特待生試験
3月7日・10日・13日・16日 (以後も数回あり)

■選抜コース試験日→上記と同じ

国文特A選抜コース (東大・京大文系選抜)	熊大文系選抜コース
国理特A選抜コース (東大・京大・医進選抜)	熊大理系選抜コース
国立文系選抜コース	私文特A選抜コース (早・慶・上智文系選抜)
国立理系選抜コース	西南・福大文系選抜コース
国立文系一般コース	熊本学園大一般コース
国立理系一般コース	私立理系一般コース
	医技短・看護系一般コース

※一般コースは申し込み順に毎日受付中です。

■入学予約受付中(無料)
世安校舎 ☎0120-592548
〒860-0823 TEL325-3755
熊本市世安町393-2

松本 正敏 (53会)

平成四年より行われているディスカバー土曜事業であるが、今回は二〇〇〇年に創立百周年を迎える前の年として、創立当時の母校や野田寛初代校長先生に縁のある地を訪ねてみようという話で話が進み、青年江原会の副会長学年の53会が中心となって動いた。

行程は、野田寛先生の墓参り、晩年を過ごされた蓬萊園跡、生家跡(七軒町跡)、第一清々園としてスタートした校舎跡(敷内)、校門のあった下馬橋跡というコースになったが、先ず熊中・熊高八〇年史や野田先生傳から資料を読み直して纏める担当や、当時の資料を集めたり、また雨天の為当日でできなかったがパーベキユーを担当する係などを分擔して準備を進め、無事に終了することができ、改めて同級生が頼りがいのあるものだと思われ、私達には、何かをやるうとするときの団結力やつくづくの意見の交換など、本場にすばらしいものがあると思えます。そこで一言付け加えれば、今まで同窓会活動に顔を出して

今年、永遠に続く同窓会活動の中心の年です。さまざまイベントを各学年の同窓会活動と、それを纏める江原会や青年江原会とがひとつになって、みんなの力で成功させましょう。

KOKEIJUKU
受付中

- 本科 大学受験科<奨学生試験あり>
- 高1・高2・高3コース
- 公務員専攻科(初級・上級コース)

体験壺溪塾 **無料**

- 教科:英・数・国・物理・化学・生物・地学・日本史・世界史・地理・公民
- 3月14日(日)・21日(日)・25日(木)・27日(土)
- 対象:高卒生
- 申し込み方法:電話予約

春季セミナー **無料**

- 教科:英・数・国・小論文
- 3月28日(日)・29日(月)
- 対象:新高1生・高2生・高3生
- 申し込み受付中

詳しくはパンフレットをご請求下さい。
フリーダイヤル **0120-518-509**
コケイハ ゴーカク

PREP SCHOOL **KOKEIJUKU** 壺溪塾 大学予備校
熊本市・内坪井町5-10 〒860-0077 Phone096-352-1442